

平成24年度事務事業外部評価 評価結果と対応方針

外部評価番号	12	事業名	街路整備促進事業	所管課	建設部 都市計画課
--------	----	-----	----------	-----	--------------

各委員による評価や意見等					
評価	委員数	改善したほうがよいと思う点	今後どのように取り組むべきか		
現行どおり・拡充	10	-	現状どおり継続すべきと思う。今後もより良い運営に努めてほしい。		
		将来的に利用度が少ない路線は見直す、しかし、利用度は少なくとも過疎地等必要箇所は大切に存続させる。	地元区民のボランティア活用など他にも存続可能な方法もある。		
		特にありません。	関係該当区への交付金と考えております。		
		-	地元組織と協力、調整しながら継続していく。		
		-	できれば、大沢、太田部線の事業に、地元の皆さんと協議し、取り組むべき。		
		目標に対する実績管理の目的は、実績に対する問題点分析→対策→効果確認を繰り返し実施する為の「指標」であることを再認識すべき。	継続実施が望ましい。		
要改善	2	負担すべき期間	合意形成、同意取りまとめ等、一定の効果はあるが、これらは事業開始初期には完了するのではないか。		
		協議会への負担金の見直し	-		
廃止	3	-	もともと地元要望による街路整備の感がある。斎場やクリーンセンターと違って、地元の利便性向上であり、負担金は不要である。		
		-	定額負担(7万円)がなければ整備が促進できないとは思えない。		
各委員評価集計結果			現行どおり・拡充	要改善	廃止
			10	2	3

委員会としての評価結果	<p>地元組織と協力、調整しながら現行の事業を継続する。 また、市民にわかりやすい指標を設定し、効果を確認しながら事業を進めていってほしい。</p>	現行どおり・拡充
-------------	--	----------

※「委員会としての評価結果」は、各委員の評価をまとめて最終的に審議した上での評価であって、「各委員評価集計結果」の最も多い評価を評価結果とするものではありません。

市の検討結果

評価結果を受けて現時点で考える今後の対応方針	<p>○ 地元組織と協力、調整しながら現行の事業を継続します。 ○ 市民にわかりやすい成果指標を設定し、効果を確認しながら事業を進めます。</p>	現行どおり・拡充
	<p>・ 事業化に至っていない路線については、今後の事業化についての見通しを踏まえ、存続か休止かについて、地元と調整していきます。</p> <p>・ 「地元の要望による、地元の利便性向上のための整備であるので、負担金は不要」との意見をいただいておりますが、街路は佐久市の市街地の骨格を形成する都市施設として、都市計画法に基づき都市計画決定がされており、公益性が高い道路であります。</p> <p>・ 「定額負担が無ければ整備が促進できないとは思えない」といった意見をいただいておりますが、負担先である地元協議会は、事業計画に対する地元住民・関係者の意見・要望等のとりまとめ、事業主体と地元との連絡調整、関係機関への事業推進の要望活動や、事業についての勉強会・先進地視察などを行っており、このような活動により事業が円滑に進捗しています。したがって、このような活動をしていただいている組織に対して、必要な負担であると考えています。</p>	